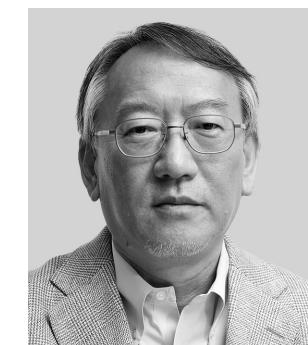


米中対立と中国経済の行方 —そして日本の対中戦略は

東京財團政策研究所主席研究員

柯 隆

りゅう



りゅう

- *経済低迷を軍事増強で補完する習近平
- *公式統計より大分低い経済成長率
- *終わった4中全会をどう評価するか
- *デフレに陥っている中国経済
- *中国経済を悩ます三重苦とは何か
- *新しい経済の牽引役は奏功しているのか
- *過剰生産と大規模倒産の悪しきサイクル
- *「共同富裕」を前に進行する高齢化
- *後継者を作らない習近平体制の危うさ

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、柯隆先生をお招きしました。この前の会員の皆様のアンケートで柯隆先生は一番人気でございまして、今回もお越し頂きました。昨日4中全会が閉幕になりまして、4中全会が終了したところでいろんなことも出てきておりますので、それを踏まえて先生にお話しいただこうと思っています。15次の5カ年計画も発表されましたし、それから人事では軍部の綱紀肃正ということで、中央軍事委員会の副主席が更迭されるという結構大きな動きがありました。この辺もどう考えたらよいのか、先生のお話を聞きたいと思います。

経済低迷を軍事増強で補完する習近平
まして、レアアースの問題ですとか入港料の問題とかでアメリカと中国が激しい駆け引きをしている最中でございますので、もちろんこの表題のように経済についても詳しくお話を伺えると思います。

先生、よろしくお願ひします。（拍手）

柯 隆 それから、皆さんご存じのよう アメリカと中国の貿易戦争がまた激化の様相を呈しており

経済低迷を軍事増強で補完する習近平
いた柯です。毎年お話しさせていただいておりまして、ただ、例年大体2月とか3月が多くつたものですから、今年は呼ばれないのかなと（笑）。それから、念願の1位をようやく実現できてありがとうございます。（拍手）